

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

溶接学会九州支部 第1回若手グループ研究会・見学会共催の報告

若手会員の会運営委員会, 溶接学会九州支部若手グループ 北村貴典 (九州工業大学)

Joint hosting report of the 1st young researcher group seminar and visitation of

Fujita Works Company Limited hosted by Kyushu branch

主催 : (社) 溶接学会九州支部

14:10 ~ 14:40 「微細接合用材料の問題点

共催 : (社) 溶接学会 若手会員の会運営委員会

とその新展開」

大阪大学 接合科学研究所

西川 宏氏

開催日時 : 平成 21 年 3 月 17 日 (火) 13:00 ~ 17:10

18 日 (水) 9:30 ~ 12:30

14:40 ~ 15:00 休憩

開催場所: 研究会 (1 日目) 鹿児島県工業技術センター (鹿

児島県霧島市隼人町小田 1445-1)

見学会 (2 日目) 株式会社 藤田ワークス (鹿

児島県霧島市国分上野原テクノパーク 12 番 18

号)

15:00 ~ 15:30 「溶接部組織形成ダイナミクスの追跡」

大阪大学 接合科学研究所

寺崎秀紀氏

15:30 ~ 16:00 「摩擦攪拌接合技術」

東北大学 大学院工学研究科

佐藤 裕氏

受講料 : 無料

受講者数 : 研究会 (1 日目) : 34 名

見学会 (2 日目) : 11 名

16:00 ~ 16:30 「高出力・高輝度ファイバーレーザ溶接

とその加工現象」

大阪大学 接合科学研究所

川人洋介氏

プログラム :

第 1 日目 : 3 月 17 日 (火)

13:00 ~ 13:10 開会挨拶

溶接学会九州支部幹事 九州大学 大学院工学研究院

後藤浩二氏

16:30 ~ 17:00 「セラミックス / 金属の異材レーザブ

レージング」

鹿児島県工業技術センター

瀬知啓久氏

13:10 ~ 13:40 「薄板溶接重ね継手部の強度評価」

九州工業大学 大学院工学研究院

北村貴典氏

17:00 ~ 17:10 閉会挨拶

13:40 ~ 14:10 「金属ガラス箔の高エネルギービーム溶

接性」

大阪大学 接合科学研究所

津村卓也氏

溶接学会若手会員の会運営委員会委員長

広島大学 大学院工学研究科 山本元道氏

第 2 日目 : 3 月 18 日 (水)

9:30 ~ 12:30 見学会 株式会社 藤田ワークス

溶接学会九州支部では、九州地区の若手研究者・技術者を対象に、溶接・接合を主体にした「最新の溶接・接合技術や研究成果」、「特色のある生産加工技術」などに触れていただく機会として、さらには、九州地区の溶接に携わる若手研究者・技術者の増強、活性化およびネットワーク構築のため、「若手グループ研究会・見学会」を開催する運びとなりました。第1回目の研究会では、溶接学会若手会員の会との共催により、多くの若手研究者による最先端の溶接・接合技術や研究をご紹介いただきました。研究会会場は鹿児島県工業技術センターであり、第2日目には地元企業の見学会も開催しました。また、受講者には受講証とともに、「IIW 溶接技術者資格」特認コース履修ポイントおよび「ISO14731 / WES8103 溶接管理技術者」再認証クレジットポイントを発行しています。

今回は、若手会員の会運営委員会から、津村卓也氏（大阪大学）、西川宏氏（大阪大学）、寺崎秀紀氏（大阪大学）、佐藤裕氏（東北大学）、川人洋介氏（大阪大学）を派遣していただき、九州支部より小生と瀬知啓久氏（鹿児島県工業技術センター）の合計7件、それぞれのご専門分野について基礎的な事柄から最新のトピックまで幅広くご講演いただきました。また、研究会では34名の参加があり、講演後の質疑応答も非常に活発な討論が繰り広げられ、大盛況でした。地元九州の企業から、多くの若手技術者が研究会に参加しており、九州の製造業の活性化の一助となったものと思っています。

2日目の見学会は11名の参加がありました。最初に株式会社藤田ワークス ゼネラルマネージャー藤井亮氏より、会社概要について説明があり、独自の高精度精密板金加工について説明がなされました。その後、会社工場内を見学しました。特に、経済産業省モノづくり日本大賞九州産業局長賞を受賞した“異種金属5層同時溶接”など非常に興味深い技術について説明を受け、有意義な見学会となりました。

本研究会は第1回目として、まずまずのスタートを切りましたが、九州支部の若手研究者・技術者間のネットワークをさらに広げていく必要があります。九州支部単独で講師の先生を確保することは困難であり、第2回、第3回・・・と続けていくためには、今回のように、若手会員の会運営委員会から講師の先生を派遣していただくと、より充実した研究会となります。最後に、本研究会・見学会開催に際し、準備から当日運営まで多大なご尽力を頂いた瀬知啓久氏を始めとした鹿児島県工業技術センター関係各位に深謝いたします。



図1 (1日目 研究会) 溶接学会九州支部幹事九州大学 後藤浩二氏より開会挨拶



図2 (1日目 研究会) 大阪大学 寺崎秀紀氏によるご講演



図3 (2日目 見学会) 株式会社藤田ワークスにて記念撮影